プリーツスクリーン

TW型メカ　ツインタイプ

取扱説明書 No.P－08091206

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

ホームページアドレス http://www.sangetsu.co.jp
〒451-8575　愛知県名古屋市西区幅下1-4-1
TEL　052-564-3111

安全上のご注意(必ずお守りください)

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

注意	製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

- 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。
- 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)

警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
- 製品は、水平に取付けてください。

■使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)

警告

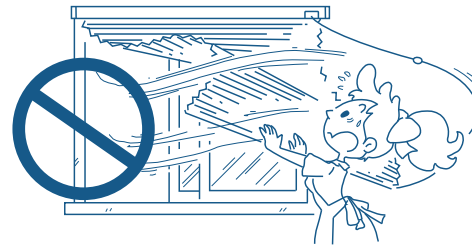
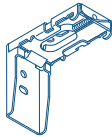
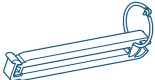
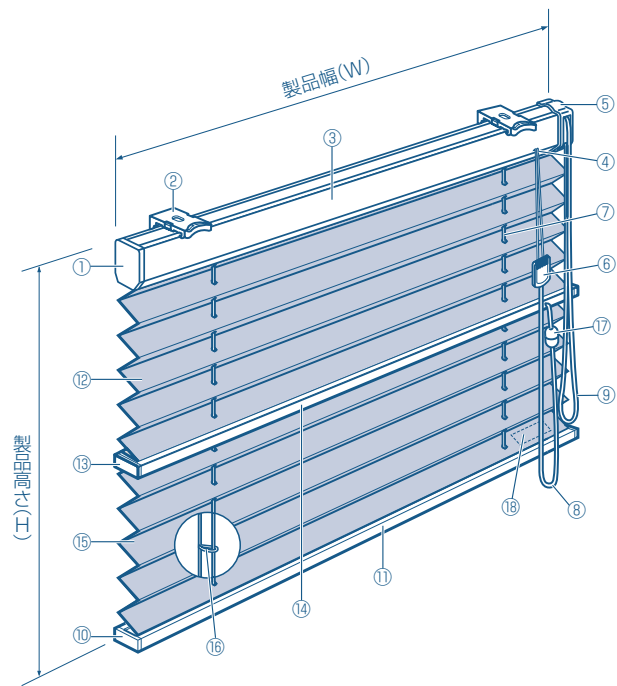
- お子様をコードやチェーンで遊ばせないでください。
- コードやチェーンが体に巻きついたり、引っ掛かるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- 操作しない時は、お子様の手が届かない位置で操作コードを束ねて、安全タッセルで留めてください。

- 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

- 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

注意

- 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンをたたみ上げた状態にしてください。

- メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

- 必ず操作コード、またはループコードで操作を行ってください。スクリーンやボトムレールを持って操作を行わないでください。
- 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。

製品全体図及び部品名称

部品名

① ヘッドレールキャップ
② ブラケット
③ ヘッドレール
④ コードロ
⑤ 操作プーリー
⑥ コードジョイント
⑦ 昇降コード
⑧ 操作コード
⑨ ループコード
⑩ ボトムレールキャップ
⑪ ボトムレール
⑫ 上部スクリーン
⑬ 中間レールキャップ
⑭ 中間レール
⑮ 下部スクリーン
⑯ ピッチキープコード
⑰ 安全ジョイント
⑱ メンテナンスシール

■ 付属部品

部品名 / 製品幅(mm)	ブラケット	ブラケット取付けネジ(ナベφ3.5×20)	安全タッセル
～1200	2個	2本	1個
1210～2000	3個	3本	

■ 製品重量

4.6kg(幅2000mm×高さ2000mmの場合)

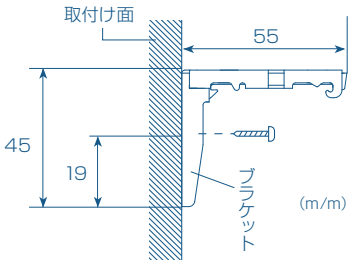
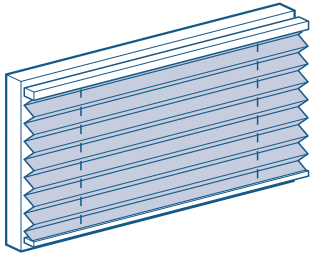
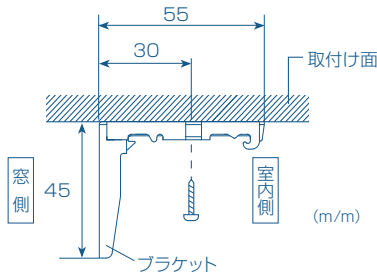
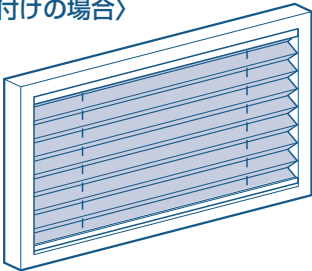
※製品重量は、スクリーン種類によって多少異なります。

製品の取付け/取外し方法

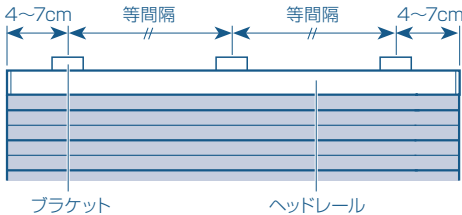
⚠ 注意

⊘ 付属部品のネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

〈正面付けの場合〉

〈天井付けの場合〉

■ ブラケットの取付け位置

❶ ブラケットはヘッドレールの両端から各4～7cmの位置が最適です。

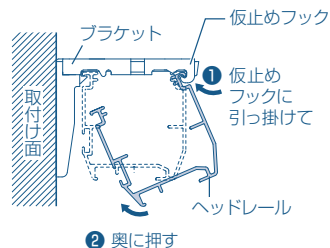
❷ ブラケットが3個以上の場合はその間が等間隔になるよう取付けてください。

■ ブラケットの取付け方法

● 上記の「取付けの種類」の図を参考にして、ブラケットを付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

※ブラケット1個に対し、取付けネジは1本です。上記の図はブラケットの長穴の中心までの寸法図です。ブラケットには丸穴もありますが取付け状況に応じてご使用ください。

■製品本体の取付け方法

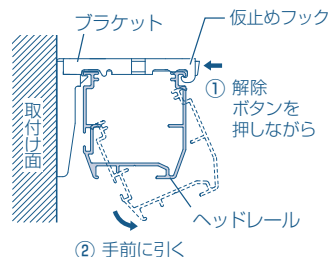
❶ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。

❷本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。

注意

本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されていることをご確認ください。

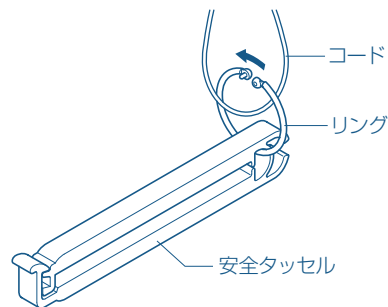
■製品本体の取外し方法

❶スクリーンをたたみ上げた状態で本体を持ち、ブラケットの解除ボタンを押しながら(①)ヘッドレールを手前に引いてください(②)。

❷本体を仮止めフックからはずしてください。

注意

ブラケットから製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

■安全タッセルの取付け / 使用方法

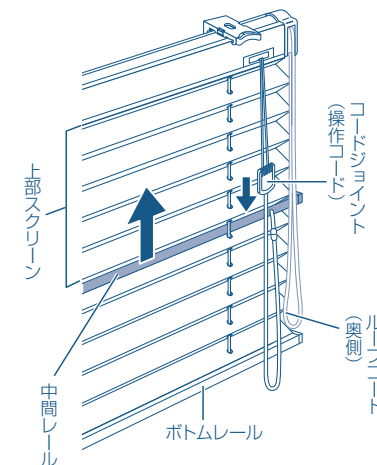
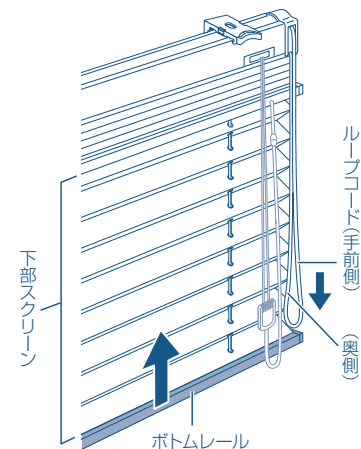
- この安全タッセルは、お子様が操作コードやボールチェーンを首や体に巻きつけて、思わぬ事故を招くことを防止するための部品です。
- 付属のリングで、安全タッセルを操作コードやボールチェーンに取付け、お子様の手が届かない位置で操作コードやボールチェーンを束ねて、留めてください。

操作方法

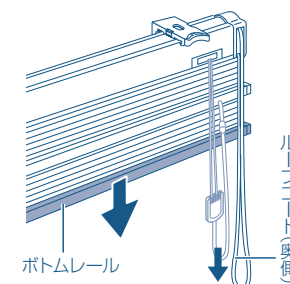
■全体スクリーンの昇降(ボトムレールの動かし方)

〈スクリーン(ボトムレール)を上げる方法〉

❶コードジョイントまたは、操作コードを下方向に引き、上部スクリーン(中間レール)を一番上までたたみ上げてください。

注意

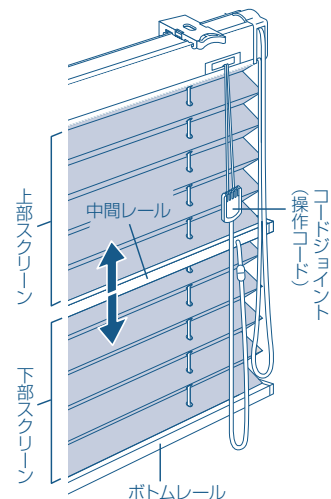
上部スクリーンを完全にたたみ上げない状態で、下部スクリーンをたたみ上げないでください。上部スクリーンより昇降コードが飛び出し故障の原因となります。また、誤操作により上部スクリーンより昇降コードが飛び出した場合は奥側のループコードを下方向に引きボトムレールを下げて、続けて操作コードを少し下に引き中間レールを下げることで解除できます。

❷手前側のループコードを下方向に引き、下部スクリーン(ボトムレール)を止めたい位置で手を離してください。

〈スクリーン(ボトムレール)を下げる方法〉

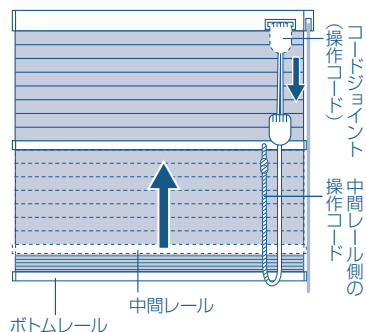
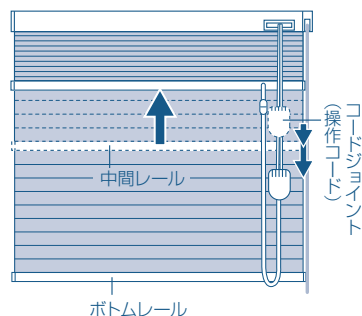
- 奥側のループコードを下方向に引き、下部スクリーン(ボトムレール)を止めたい位置で手を離してください。

■上下スクリーンの切り替え（中間レールの動かし方）

※ツインスタイルは中間レールを動かすことで、上下スクリーンの割合を変えることができます。

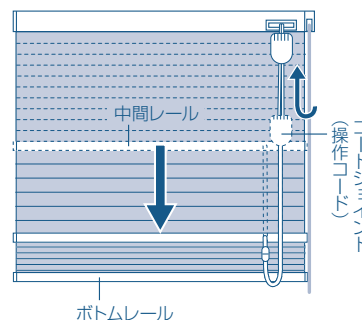
※中間レールの切替動作は、ストップと解除が交互に作動する機構となっています。

注意

操作コードから手を離す際は、スクリーンが確実に止まること（切替動作がストップの状態にあること）を確認してから手を離してください。切替動作がストップの状態にないと、スクリーンが勢いよく下がりケガや故障の原因となります。

〈中間レールを上げる方法〉

●中間レールが一番下にある場合は、コードジョイントまたは、操作コードを下方向に引き、中間レールを止めたい位置で手を離してください。

●中間レールが途中にある場合は、コードジョイントまたは、操作コードを少し下に引き、手を一旦ゆるめてから再びコードジョイントまたは、操作コードを引き、中間レールを止めたい位置で手を離してください。

※中間レールの上げ下げを行う場合に、中間レール側の操作コードを引かないでください。故障の原因となります。

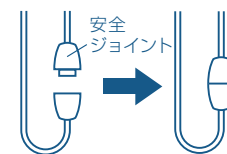
〈中間レールを下げる方法〉

●コードジョイントまたは、操作コードを少し下に引くとストッパーが解除され中間レールが下がります。中間レールを途中で止めたい場合は、再度、コードジョイントまたは、操作コードを下方向へ引くとストッパーが効き、中間レールが止まります。

■安全ジョイントについて

警告

お子様を操作コードで遊ばせないでください。首や体に巻き付くなどして思わぬ事故を招く恐れがあります。

●安全ジョイントは操作コードがお子様の首や体に巻き付いた場合、危険を回避する為に、昇降コードを分離させるための部品です。

●安全ジョイントに力がかかったり、安全ジョイントの近くを持って操作すると、安全ジョイントが外れます。安全ジョイントが外れた場合は、そのまま使用せずに、再びはめ直してからご使用ください。

メンテナンスシール

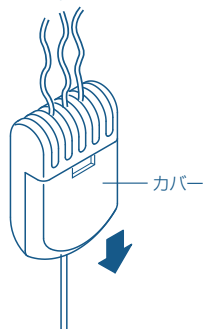
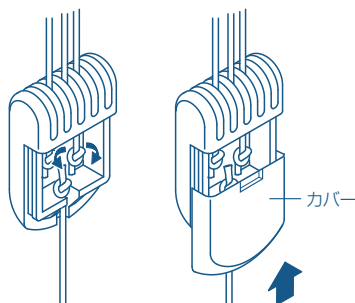
●お買い上げの商品には、スクリーン右下裏側のボトムレール上面に、商品に関する情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。商品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。

“故障かな”と思ったら

■こんなとき

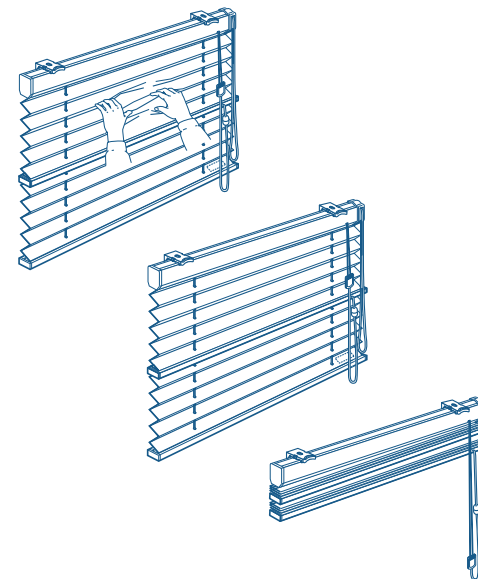
現　象	原　因	処　置
●下部のスクリーンが正しく昇降できない。	上部スクリーンが最上部までたたみ上がっていないと思われます。	●P.7「操作方法」をご覧ください。
	誤操作防止機能により操作がロックしていると思われます。	●手前のループコードを下に引いて、ロックを解除してください。
●上下スクリーン(中間レール)の切り替えができない。	昇降コードがよじれていると思われます。	●下記の手順でよじれをとってください。
●スクリーンがきれいにたたみ上がらない。	プリーツの折り目が乱れていると思われます。	●P.11〈スクリーンの折り目が乱れた場合の直し方〉をご覧ください。
●スクリーンが斜めに上がる。	ピッチキーププッシュの固定位置がずれていると思われます。	●P.11〈スクリーンが斜めに上がる場合の直し方〉をご覧ください。

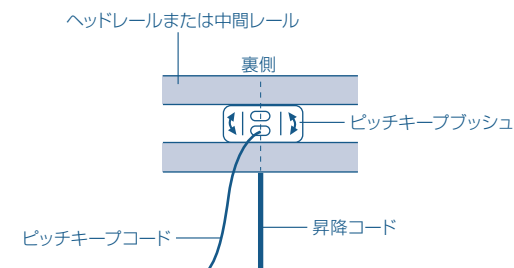
〈昇降コードのよじれのとり方〉

❶ ⊖ドライバーでカバーを下にスライドさせ、外してください。

❷ 各昇降コードのよじれをとり、カバーを下からスライドさせ、はめてください。

〈スクリーンの折り目が乱れた場合の直し方〉

❶ スクリーンが乱れた場合手でプリーツの折り目を整えてからたたみ上げてください。

❷ たたみ上げた状態でしばらく置きプリーツの折り目を正しい状態にしてから操作を行ってください。

※スクリーンの種類や状態によって復元に必要な時間は異なります。一度でスクリーンの乱れが直らない場合は、上記❷のたたみ上げた状態をできるだけ長くとってください。

〈スクリーンが斜めに上がる場合の直し方〉

●ヘッドレールまたは中間レールの裏側に固定されているピッチキーププッシュを昇降コードの真上に合わせてください。

お手入れ方法

●日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。

●水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。

●スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残りもとに戻らない場合がありますので十分注意してください。

梱包材の処理方法

●梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。

●各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。